

平成 19 年 1 月 26 日

歯科医師臨床研修への地方行政および国立保健医療科学院の対応

国立保健医療科学院口腔保健部長
花田信弘

1. 国立保健医療科学院における指導歯科医の養成

歯科医師臨床研修の義務化に対して、国や地方行政の研修施設における対応が始まっている。厚生労働省の研修・研究機関である国立保健医療科学院では、保健所における歯科医師臨床研修の推進を図るため、保健所に勤務する歯科医師に対する指導医研修を行っている。本研修を保健所に勤務する歯科医が受講することによって、厚生労働省医政局長と国立保健医療科学院長の連名による「修了証書」が交付され、指導歯科医として認定される。

資料：特定研修；保健所に勤務する歯科医師に対する指導医研修

2. 国立保健医療科学院における研究管理委員会の質の強化

また、研究管理委員会委員長に対する 2 日間の研修も行い、臨床研修と修了認定に関するさまざまな問題に関する議論を深めている。

資料：特定研修の実施；研究管理委員会委員長に対する研修（資料）

3. 行政機関における臨床研修医の受け入れ状況

厚生労働省：国立保健医療科学院では平成 17 年度から関東地方の医学部の依頼により、医師の臨床研修の受け入れを行っている。しかし、歯学部からの歯科医師の臨床研修の依頼はない。なお、本院口腔保健部長（花田）は日本口腔衛生学会が認定する「地域歯科保健指導医」の資格があり、希望があれば臨床研修歯科医を直接本院で受け入れることができる。

保健所：保健所においてはこれまで医師の臨床研修の受け入れを行っている。しかし、歯科医師の受け入れに関しては実績がない。今後、歯科医師の臨床研修の受け入れが進むことが予想されるので、指導体制の充実が望まれる。カリキュラムは医師の臨床研修と大差ないものになると考えられる。本院で行われた保健所に勤務する歯科医師に対する指導医研修において、カリキュラムの検討が行われた。平成 18 年度報告書に記載されている 2 つの事例を資料として提出する。

資料：臨床研修のカリキュラム（事例）

滋賀県の事例

新潟市の事例

以上

**■ コース内容****【特定研修】臨床研修指導歯科医（保健所）養成コース**

お問い合わせ先：教務課教務第二係 048-458-6189

様式については、別途お知らせする研修案内又は実施要綱等を参照してください。

目的

臨床研修指導歯科医（保健所）が、指導歯科医としての役割を実践し効果的な臨床研修を行うために、新しい卒後研修制度及びその理念と一般目標、行動目標を理解し、プライマリ・ケアの習得に必要な望ましい研修プログラム（地域保健・医療）に基づき、研修歯科医を学習原理にしたがって効果的に指導し評価する能力を身につける。

研修のねらい

- ・ 地域保健医療分野における指導歯科医の役割を理解する
- ・ 学習理論を理解する
- ・ 指導方法、評価方法を理解する
- ・ 研修カリキュラムの計画方法を理解する
- ・ ケースメソッドによる公衆衛生教育を受講する

研修内容

新歯科医師臨床研修制度と保健所指導歯科医
地域保険医療分野における指導歯科医の役割
学習理論、指導方法、評価方法

研修カリキュラムの計画方法（カリキュラム、プランニング）等
研修はワークショップ形式（参加者主体の体験型研修）で行います。

研修期間

平成18年8月23日（水）から平成18年8月24日（木）まで。

募集定員

15名

受講資格

原則として3年以上の公衆衛生実務経験を有する保健所等の行政機関に勤務する歯科医師

受講願書等の受付期間

平成18年6月2日（金）までに本院に必着するように郵送して下さい。

受講者の選考

書類審査により受講の可否を決定します。なお、応募状況に応じて地域ブロック等を勘案して受講人数を調整することがあります。

受講許可等の通知

受講の可否については派遣機関に通知します。その後、受講者あて時間表等必要書類を送付します。



■ コース内容

【特定研修】歯科医師臨床研修制度・研修管理委員会・委員長研修

お問い合わせ先：教務課教務第二係 048-458-6189

様式については、別途お知らせする研修案内又は実施要綱等を参照してください。

目的

臨床研修とその質の向上のためのマネジメントを理解し、研修プログラムの実施及び評価を管理する技能の習得を目的とします。具体的には、研修の中断や再開、研修修了の基準、臨床研修において認識すべき歯科医療・労働関係法規、複数の病院・施設が関係する臨床研修の留意点、病院の安全管理といった側面も含めて、講演と参加型セッションという形式で実施します。

受講対象者

臨床研修指定病院（単独型及び管理型）における研修管理委員会の委員長で業務や健康に支障を来たすことなく、全期間を通して研修に参加できる者。

研修日程・定員

日 程 未定 決定次第お知らせいたします。

定 員 50名

研修目標及び内容

研修目標	研修内容
1. 教育と診療、安全のバランスを考慮したシステムを理解する	研修体制の課題 臨床研修における歯科医療安全の課題： 総論、各論 卒後臨床教育の展望：シンポジウム
2. 学習理論に基づいた研修教育（歯科医学教育・技法を含めた）の概要を理解する。	歯科医師臨床研修の現状と課題 研修教育のありかた
3. 研修中断・再開、研修修了の基準について理解する。	
4. 臨床研修において認識すべき歯科医療及び労働関係法規を理解する	現在の臨床研修制度について：修了基準等を含む
5. 複数の病院、施設が関係する臨床研修の留意点に配慮する。	研修歯科医のメンタルヘルス、トラブルシューティングについて
6. 経営のバランスを考慮したシステムを理解する。	経営管理の観点から見た臨床研修

必要諸経費等

受講料は必要ありません。研修出席に伴う旅費・宿泊費・食費等は各自で負担して下さい。

修了証書の交付

研修の全期間出席し、研修を修了した方には修了証書（厚生労働省医政局長及び国立保健医療科学院長の連名）を交付いたします。

受講申込手続き

別途、研修指定病院及び研修指定予定病院あて配布予定の募集要項に従い受講申込みを行ってください。

受講の可否について

定員の範囲内で受講の可否を決定します。受講希望者数が定員を超える場合には、地域ブロック等を勘案して書類選考させていただきます。結果は受講申込者あてに郵送にて通知いたします。

その他

研修に際し、本院寄宿舍が利用できます。但し、長期研修での入居希望を優先しますのでご希望にそえない場合もあります。空き状況については受講許可後、（財）公衆衛生振興会あて照会してご確認ください。利用できない場合は、各自で宿泊場所を手配願います。

平成18年度 特定研修 臨床研修指導歯科医(保健所)
養成コース 講義資料

平成18年 8 月 24 日 (木)

13 : 40 ~

演習 (保健所での
医師臨床研修の現状)

講師 毛利 好孝
井下 英二

セッション記録 (8/24(木) 13:40~14:20、記録者:溝口恭子)

テーマ: 保健所での医師臨床研修の現状(担当:井下・毛利講師、
藤山…受講者)

【報告】

滋賀県および新潟市では、医師と歯科医師の区別なく原則同じ臨床研修プログラムを合同で実施し、公衆衛生全般および歯科保健について研修を行っていた。

とくに新潟市には、歯学部を有している大学が2校あるため、受け入れには苦慮しており、今後の課題とのことであった。

カリキュラムの作成においては、一般目標 (GIO)、行動目標 (SBOs) を設定の上、目標達成のために研修医が学ぶべき学習方略が具体的に示されていた。研修カリキュラムの作成過程では以下の内容を視野にいれて行ったことが報告された。

目標を明確にすることにより、研修医においては学ぶべき内容の目標について理解が深まり、モチベーションが上がる。また、指導者間では目標に共通の理解が得られ、研修方法の準備や研修計画を立てやすくなる。さらに、学習進度についての情報交換がしやすくなり、効率的かつ効果的に研修が進んでいるか共有しやすくなる。

さらに、目標を設定することにより、研修による行動の変化についての評価も明確になる。その結果に基づいて、研修中においても効果的に遂行されているかを研修医と指導者間で確認でき、その後の研修内容に反映することも可能になる。

実際のカリキュラム作成においては、各部署の協力を得られるよう調整することに一番労力を要するとのことであった。指導者側においては、目標を共有し、相談・実践できる同士を少しずつ増やしていく必要性を感じた。

歯科医師の場合は、ほとんどが開業医になっていくことをふまえ、歯科医師臨床研修「地域保健・医療」における研修歯科医のダイヤモンドと指導歯科医としてのニーズを整理し、カリキュラムに反映させていくことも重要と考えられた。

先進的に取り組まれている保健所の臨床研修のレベルの高さと研修歯科医自身が主体となり自律的に学べるよう熱心に支援しながら、研修歯科医のロールモデルとなっている姿に感銘した。

配付資料「臨床研修医 月間予定表 等 3 頁」

講師 井下 英二

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
A	オリエンテーション (所長他)	食品衛生講義 (並河)	HIV講演見学 (大津高校) (澤)	菓草講義 (大友)	ケアセンターおおつ(介護) 結核診査会 (所長)	
B		結核 定期外健診 (高田)	給食施設指 導 (関野・山中) 医療安全相談室	届出書の作 成 講義 (武田、澤村)		
C						
9	10	11	12	13	14	15
A		母子保健(大津市)	皇子山こどもクリニック	皇子山こどもクリニック	皇子山こどもクリニック	
B		村田内科診療所	村田内科診療所	村田内科診療所	ケアセンターおおつ(介護)	
C		みずき皮膚科クリニック	みずき皮膚科クリニック	食品監視(金岡他)	みずき皮膚科クリニック	
16	17	18	19	20	21	22
A	皇子山こどもクリニック	皇子山こどもクリニック	医療安全相談室	精神作業所 見学 (ホワイテクラブ) (原田)	結核診査会 (所長)	
B	村田内科診療所	母子保健(大津市)	村田内科診療所			
C	みずき皮膚科クリニック	母子保健(大津市)	みずき皮膚科クリニック		ケアセンターおおつ(介護)	
23	24	25	26	27	28	29
A	衛生科学センター	難病訪問(谷本)	医療監視 準備 (所長)	ヘルスプロモーション・菌科保 健(井下)	ランサクラブ (鈴木)	健康危機管 理 (所長)
B	衛生科学センター	食品監視(金岡他)	滋賀医大 医療監視 (所長)			
C	衛生科学センター	難病訪問(谷本)				
30	31					
A	自己評価表 の作成 (井下)					
B						
C						

第一週

第二週

第三週

第四週

第五週

保健所医師臨床研修プログラム(地域医療・歯科保健医療)

学習方略 (Learning Strategies)		参考資料	
方法	時間	人的資源	場所
<p>行動目標</p> <p>口腔機能と介護予防等全身状況との関連性を理解できる</p> <p>誤嚥性肺炎と口腔ケアの関連性を理解できる</p> <p>科学的根拠に基づいた口腔ケアの理解ができる</p> <p>病院内における歯科専門職種の重要性が理解できる</p> <p>歯科健康診断票を記入できる</p> <p>口腔予防において対象に応じたフッ化物応用方法を理解し適用できる</p> <p>口腔予防のためのフッ化物応用の安全性と効果について理解できる</p> <p>歯周疾患の治療、予防のためのブラッシングの方法を実践できる</p> <p>歯周疾患と全身疾患や生活習慣との関連性を理解できる</p> <p>児童虐待とう蝕の多発との関連性を理解できる</p>	<p>2</p>	<p>歯科医師</p>	<p>国民衛生の動向</p> <p>口腔と全身の健康との関係 (8020推進財団)</p> <p>口腔と全身の健康との関係Ⅱ (8020推進財団)</p> <p>口腔と全身の健康状態に関する文献調査報告書 (1) (8020推進財団)</p> <p>歯周病と生活習慣病の関係 (8020推進財団)</p> <p>保健医療科学第52巻1号「口腔保健のこれから」</p> <p>歯科医師のための児童虐待理解のために (財) 口腔保健協会</p> <p>歯周病と全身の健康を考える</p> <p>(財) ライオン歯科衛生研究所編 医歯薬出版</p> <p>口腔保健と全身的な健康状態の関係について</p> <p>小林修平編 (財) 口腔保健協会</p> <p>「介護予防向上のための口腔機能改善推進のための支援体制整備事業」報告書 (社) 全国国民健康保険診療施設協議会, 2004.</p> <p>フッ化物応用と健康 ―う蝕予防効果と安全性― (口腔保健協会)</p> <p>フッ化物応用学会フッ化物応用委員会編 (日本口腔衛生学会) 医歯薬出版</p> <p>歯科衛生士別冊 歯科衛生士のための臨床論文の読み方 (クインテッセンス出版)</p> <p>EBMIに基づいた口腔ケアのために 必読文献集 (医歯薬出版)</p> <p>予防歯科実践ハンドブック 医歯薬出版, 2004</p> <p>明日からできる地域での予防歯科 (医歯薬出版)</p> <p>う蝕予防のためのフッ化物塗布剤マニュアル (社会保険研究所)</p> <p>介護予防研修テキスト (社会保険研究所)</p> <p>「病院歯科における口腔ケア実施に関する実態調査」</p> <p>8020推進財団、日本病院歯科口腔外科協議会</p>
<p>実習</p> <p>講義</p>	<p>2</p>	<p>歯科医師</p>	<p>所内</p>
<p>講義</p>	<p>1</p>	<p>歯科医師</p>	

日	AM/PM	研修項目	担当者	研修内容・感想等	自己評価	担当評価
3日	AM/PM	保健所の概要		保健所の機能につき学んだ。講義が練り込まれていた。	C	A B C D E
4日	AM	食品衛生講義	並河主査	この先いつ食中毒患者に遭遇するかわからないため、対応の仕方について学べたことは有意義だった。ノロウィルスが感染力が強いことは今まで知らなかった。	B	A B C D E
4日	PM	結核定期外検診	高田主任 健師	結核患者に接触のあった人に対してどう対応がとられているのかわかるようになった。自分も病院で接触があったので胸部X線撮影をしていたが、このような法律に基づいたものであることは知らなかった。	B	A B C D E
5日	AM	HIV講演見学	澤主査	性に強い関心を持ち、一方で間違えた情報に振り回されやすい年代なので、正しい性の知識を教えることは生徒たちの身体・心を守るために大切なことだと感じた。	B	A B C D E
5日	PM	給食施設指導	山中副主幹	正直なところ、ここまで時間をかけて聞き取りを行い、指導しているとは思っていなかった。衛生面の他に、栄養面も監視して社会の健康のために努力していることが感じられた。	B	A B C D E
6日	AM	食中毒事例への対応	小村副所長 他	食中毒が発生した場合に保健所の職員の方々が早急に原因を突き止め、確定するために調査に出かけたり、マスコミへの対応を話し合われたりして、緊張した雰囲気であった。健弱なお手伝いもさせていただき、どういふ方法で原因を絞っていくのかを経験できたことが良かった。	B	A B C D E
6日	PM	届出書の作成講義	武田副主幹	保険導入後、介護給付費が増加傾向にあり、それに伴って保険料も増加していること、介護保険制度の内容の見直しが行われていることを知った。	C	A B C D E
7日	AM/PM	結核診査会	勝山所長	結核患者さんの診療はこれまで当たらなかったことがなく、知識も曖昧で苦手であったが、結核の診断、治療について改めて勉強して、画像所見なども見て知識の整理に役立った。定期健診が無くなったりBCGの時期が変わったりしていることも全く知らなかった。結核診療というのは届出や公費負担、定期外検診など法律に則って行政が深く関わっている部分が大変だと感じ、他の疾患も大きく異なるなど感じた。	B	A B C D E
21日	AM/PM	介護(ケアアセンタ-おおつ)	辻副所長 他	職員の方が建物の構造が現場のことが考えられていないと不満を語っておられたことが印象的であった。主治医意見書を実際に書いてみて、外來ではなかなか正確な記載は難しいのではないかと感じた。	B	A B C D E
18日	AM/PM	母子保健(大津市健康推進課)	清水保健師 他	10ヶ月健診、3歳6ヶ月健診を見学した。対象人数はものすごく多いが、育児で心配なことは時間をかけて相談のつたり、問題点のある母子はフォローしたりと、想像していた以上に手厚く育児をサポートしているという印象だった。	B	A B C D E
20日	AM	精神作業所見学	原田副主幹	精神障害者は一般就労できるだけの力は持っているのに作業所の方針でそれをサポートすることもできるが、妨げている例も実際は多いことを学んだ。グループ就労はともにもユニークかつ、精神障害者のことを良く考えた方法だと感動した。	B	A B C D E
20日	PM	医療安全(医療安全推進室)	前田主幹 他	医療機関に対する苦情の記録を添わせていただいた。医師の説明不足、また、患者が医師に質問しにくいことが苦情の原因となつていていることも多いように感じた。この先このような記録を見る機会はないと思うので貴重な機会を頂いた。	B	A B C D E
21日	AM/PM	結核診査会	勝山所長	前回とはまた異なる症例を見ることができた。前回、今回とも症例数が少なかったのは残念であった。	B	A B C D E
24日	AM/PM	衛生科学セミナー	林次長 他	講義および業務の見学を主に行なった。保健所とともに地域の人の健康を守るためにこのような行政機関が存在し、どういふこと業務を行っているかを知らることができた。感染症センターでは全数報告や定点観測を通して感染症の発生動向をとらえる実践の報告も聞き、自分もまた情報を知りたいと感じた。	C	A B C D E
25日	AM/PM	食品監視	八木副主幹 並河主査 横山主任技師	午前中は比較して営業する飲食店についての食品監視を行った。実際、残留農薬濃度を測定する機会もあった。どのような所をチェックし指導しているのかわかった。午後からは新しく開業する入浴施設およびAEDのリースを行っている会社の監視の見学し、これらの業種にも保健所の監査が入るとは知らなかったため、貴重な機会に恵まれてよかった。	B	A B C D E
26日	AM	医療安全講義	勝山所長	医療安全に関する用語などを学んだ。医療訴訟が30年で6倍も増えていることや、訴訟での結果などを見ても、決められた手順をしっかりと守ること、診療録への記録、患者対応など普段から心がけていく必要を強く感じた。	B	A B C D E
26日	PM	医療監視	勝山所長 他	滋賀医科大学の医療監視に同行し、管理部門を特に見学し、医師免許のチェックなどを行った。いくつもの部門に亘ってかなり細かいところまで調査し、医療機関の質を保つための重要な役割を保健所が担っているのを感じた。	C	A B C D E
26日	PM	HIV即日検査	澤主査	想像以上に検査を受けに来る人が多かった。何人かの受診者のカウンセリング、検査に立ち合わせさせていただいた。不安を抱えながら検査を受けに来てくれた人に対し、カウンセリングで丁寧に説明し、検査室で言葉が流れにくい状況が解消された。短い面接の中でよく相手の観察しながら、話の聞き方や説明の仕方を覚えておられると感じた。	A	A B C D E
27日	AM/PM	歯科保健	井下課長	口腔内の衛生状態が驚いと口腔癌の悪化につながる。医療費も増加するなどのため、口腔内の清潔を保つことが大切であることを再認識した。むし歯を防ぐために再石灰化を促進するフッ素の重要性につき学んだ。	A	A B C D E
28日	AM	ランチクラブ	鈴木主査	就労できず、他者との接触が少くない精神障害者にとってはこのような集まる場があることで救われる部分が少ないと感じた。	C	A B C D E
29日	PM	健康危機管理	勝山所長	事件・事故が発生した場合、被害を抑えるため、病院・保健所・消防・警察で情報を共有し、連携することの大切さを感じた。新型インフルエンザの問題はニュースで聞いたところでは国内で最大2500万人近くが感染し、7〜16万人が死亡すると試算されており、あらためてその重大性を知った。感染症、食中毒が発生した場合の対応は、迅速さと、正確な知識が求められ難しいと感じた。	C	A B C D E
11,12,13,17,19	AM/PM	村田内科クリニック	村田先生 他	午前中にクリニックで研修し、午後からは在宅医療を行っている大西クリニック、在宅ケアステーション・陽だまり、保健所の健康、諸所ハート薬局、ポリオ予防接種などさまざまな場所で研修を行わせていただいた。いろいろな分野の方のお話を聞き、現場を体験することができ、貴重な経験だった。クリニックでの研修では採血、心電図、血圧測定など最近あまり使われない手技をたくさん学び、良い復習になった。	B	A B C D E

(評価 A:十分達成された B:ほぼ達成された C:平均的 D:不十分 E:未実施)

平成 18 年度 新潟県・新潟市における歯科医師臨床研修

新潟市保健所保健予防課 藤山友紀

■ 背景

- 新潟市には、新潟大学歯学部と新潟歯科大学新潟歯学部と、歯学部を有している大学が 2 校ある。
- 平成 18 年度より新潟大学病院（62 名）が地域保健研修を開始。
- 平成 19 年度より日本歯科大学新潟病院が地域保健研修を希望。

■ 調整会議

- 今年度、歯科医師臨床研修を開始するにあたり、新潟県、新潟市保健所、新潟大学病院および日本歯科大学新潟病院の各担当者により、調整会議を数回開催し、保健所での歯科医師臨床研修に向けて、準備を行った。

■ 受け入れ機関

- 県保健所、新潟市保健所

■ 研修プログラム

- 原則として医師臨床研修プログラムと同一
- 医師と歯科医師の合同研修

■ 研修期間

- 県：原則 2 週間
- 市：2 週間

■ 受け入れ人数

- 県：35 名（村上・新発田 5 名、新津 6 名、三条 5 名、長岡 3 名、十日町 6 名、佐渡 4 名）
- 市：5 名（1 回につき医師・歯科医師あわせて 3 名まで）

■ 評価方法

- 基本的には研修医と同様にする。

【新潟市保健所の現状】

■ 受け入れ人数

- 平成 18 年 4 月 17 日～12 月 8 日を 8 クールにわけ（1クール2週間）、24 名の医師・歯科医師を受入れる予定。
- 歯科医師については、5 月 8 日～19 日に 2 名、7 月 31 日～8 月 11 日に 1 名、8 月 14 日～8 月 25 日に 2 名を受入れた。

■ カリキュラム

• 一般目標 (GIO)

臨床研修医は、歯科医師の社会的役割を認識するために、保健所における公衆衛生及び健康増進活動を知るとともに、地域歯科保健活動の重要性を理解する。

• 行動目標 (SBOs)

- ①健康づくりに関する事業を見学する。(医師)
- ②保健福祉センターの事業を見学する。(医師)
- ③食品・環境衛生に関連した監視、指導に同行する。(医師)
- ④食品・環境衛生、食肉衛生に関連した検査を経験する。(医師)
- ⑤医務薬事と保健医療統計に関する業務を経験する。(医師)
- ⑥保健所で行われている業務の概略を説明できる。(歯科医師のみ)
- ⑦地域歯科健診を見学・体験する。(歯科医師のみ)
- ⑧新潟市で行われている地域歯科保健活動の概略を説明できる。(歯科医師のみ)

• 方略

1. 行動目標：地域歯科健診を見学・体験する。

方 法：見学（一部体験）（誕生 or 1 歳半 or 3 歳 or フッ素塗布）

時 間：約 3 時間

人的資源：歯科医師及び歯科衛生士

場 所：保健福祉センター（スケジュールによっては、見学を 2 コマに）

2. 行動目標：保健所で行われている業務の概略を説明できる。

新潟市で行われている地域歯科保健活動の概略を説明できる。

方 法：講義

内 容：新潟市第二次生涯歯科保健計画について

時 間：約 3 時間

人的資源：歯科医師

場 所：保健所保健予防課

■ 総合評価方法

- 基本的には、研修医と同様とし、研修終了後、感想文の訂正を求める。
(期限以内に感想文が訂正されれば、「A」と評価される。)

■ 研修医のカリキュラム（詳細）（例） → 別紙参照

■ 来年度の課題

- 地域保健医療研修に、日本歯科大学新潟病院が、参加を希望しているが、新潟市保健所では、今年度以上の数の研修医を受入れるのは困難である。

→ 調整協議会で、検討していく必要あり。

研修(歯科)医師の研修カリキュラムについて

以下は、藤山が4月10日～21日に研修医(医科)に同行した時の内容。

		担当課	内容等
1日目	AM	総務課	保健所研修に当たって：導入 保健所業務の概略：保健所業務に係る法律 人口動態統計：死亡診断書の書き方、人口動態統計
	PM	保健予防課	結核審査会協議会の症例検討、同会の見学
2日目	AM	食品衛生課	食品衛生課の業務説明、食中毒の説明 収去検査に同行
	PM	同上	飲食店への監視指導に同行 食中毒の説明その2 動物行政の説明
3日目	AM	保健予防課	感染症法・結核予防法の説明 結核管理の概要 乳幼児医療費助成 自立支援医療費 小児慢性特定疾患対策
	PM	同上	小児慢性特定に係る会議に同行(事務局・県) 感染症の説明 等
4日目	AM	環境衛生課	ねずみ・衛生害虫対策 レジオネラ症防止対策 建築物の衛生管理：説明及び実習
	PM	同上	入浴設備の監視指導の同行 ねずみ・害虫駆除作業に同行
5日目	AM	健康増進課	骨粗しょう症対策について 公衆衛生総論
	PM		GIS(総合型地理情報システム)実習
6日目	AM	総務課	調剤薬局見学
	PM	総務課	医療法、医師法等の説明 医療安全、医療監視等の説明 苦情処理の説明
7日目	AM	保健予防課	母子保健全般の説明 すくすく健診について説明
	PM	食肉衛生検査所	と畜現場の見学 等
8日目	AM	保健予防課	すくすく健診(母子保健)
	PM	衛生試験所	衛生試験所の見学等
9日目	AM	健康増進課	地域保健福祉センターについて総論の説明 地域保健福祉センターでの見学(地区担当保健師等に同行)
	PM		同上
10日目	AM	健康増進課	公衆衛生各論
	PM	健康増進課	胸部レントゲン読影 健康危機管理
		総務課	総括

研修歯科医師の場合の変更点
歯科健診見学 or 座学
後半を座学
座学

